

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	鈴木 孝行	電 話	483-1151 内線3560
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		3267		事務事業名称		農業農村振興事業						短縮コード		経常	3267		臨時	3268					
予算区分		会計	01	一般会計		款	06		農林水産業費			項	01		農業費			目	06		農地費		
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		食料・農業・農村基本法、土地改良法、八千代市補助金等交付規則、八千代市土地改良事業等補助金交付要綱、農地・水・環境保全向上対策実施要綱															
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																							
・昭和33年から平成7年にかけて、農業農村整備事業の普及、啓発等のため開始した。 ・平成18年に八千代市補助金等交付規則、八千代市土地改良事業等補助金交付要綱が制定された。 ・土地改良施設の維持管理を推進するため、土地改良団体に補助金の交付を行い、農業生産機能の安定を図る。 ・研修等を通じ、担当職員の農業農村整備に関する知識の向上を図り、そこで得た知識を農業生産機能の安定に役立てる。 ・平成19年度から新たに「農地・水・環境保全向上対策」が導入された。																							
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測										総合計画の施策体系	5本の柱（章）		05	産業活力都市をめざして									
集落機能の低下、農業所得の減少など。また、農業従事者の高齢化、農家離れの傾向がある。											大項目（節）		01	農業									
											中 項 目		01	農業									
											小項目（施策）		01	農業生産基盤の整備と利活用									
													04	農村環境の整備									
											細 項 目		04	土地改良施設の維持									
05	農村集落の生活改善																						
実施計画の計画事業																							
計画事業の位置付けの有無					☐	計 画 事 業 期 間			～				計 画 事 業 費		千円								

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）		農政課担当職員										
		県、印旛郡市土地改良協会、千葉県土地改良事業団体連合会、八千代市土地改良事業推進協議会、印旛沼地区農業農村整備推進協議会、千葉県農										
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）		※平成18年度に実際に行ったこと： ・担当職員の研修、会議への参加 ・負担金の支出 ・河川の汚濁や干害防止のために、水源を地下水等に求めざるを得ない土地改良団体に係る機場電気料の負担を軽減するため補助金を交付 ・土地改良団体からの補助要望を受け、かんがい排水や用排水機場などの施設維持管理のための、事業費の30％以内の補助を行った										
		※平成19年度に計画していること： ・担当職員の研修、会議への参加 ・負担金の支出 ・河川の汚濁や干害防止のために、水源を地下水等に求めざるを得ない土地改良団体に係る機場電気料の負担を軽減するため補助金を交付 ・土地改良団体からの補助要望を受け、かんがい排水や用排水機場などの施設維持管理のための、事業費の30％以内の補助を行った ・千葉県農地・水・環境保全向上対策協議会が、農地や農業用水等の資源保全、質の向上を図る対策に取り組む団体に対し交付金を交付するので、市も交付金の1／4の額を同協議会に負担金として支出する。また、この対策に取り組む団体に対して指導や助言を行う。										
意図 （何を狙っているのか）		・担当職員の農業農村整備に関する知識の向上及び情報収集等 ・土地改良施設を維持管理することにより、農業生産性の安定を図る。										
結果 （どんな結果に結びつけるのか）		農業生産機能の安定										
区 分			単位	17年度		18年度		19年度				
				実績	計画	実績	計画					
対象指標		指標1	担当職員	人	3	3	3	3				
		指標2	負担金支出先	団体	5	5	4	5				
		指標3	土地改良区等	団体	9	9	9	9				
活動指標		指標1	参加回数	回	8	8	8	8				
		指標2	負担金支出額	円	1,734,000	1,885,000	1,813,970	2,655,000				
		指標3	補助金交付額	円	258,000	4,378,000	4,352,000	6,216,000				
成果指標		指標1	農業農村整備に関する知識が向上したと考える職員	%	100	100	100	100				
		指標2	補助金交付団体数	団体	1	9	9	9				
		指標3										
上位成果指標		指標1										
		指標2										
		指標3										

コード	3267	事務事業名称	農業農村振興事業				所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			農業生産機能の安定のため、常に農業情勢の動向に注視し適宜事務の見直しを行う。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状の経費で成果はでている。 経費を削減すれば成果が低下する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
昨今の米価の低迷など、農業の経営環境が悪化していることから、補助の充実を求める意見が寄せられている。	

所属長コメント	・農業農村の維持をする基本的な事務事業である。 ・妥当な評価である。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	